THE UNIVERSITY OF SHIMANE
公立大学法人 島根県立大学

交通選択と空港活用
ー萩・石見空港を事例にー

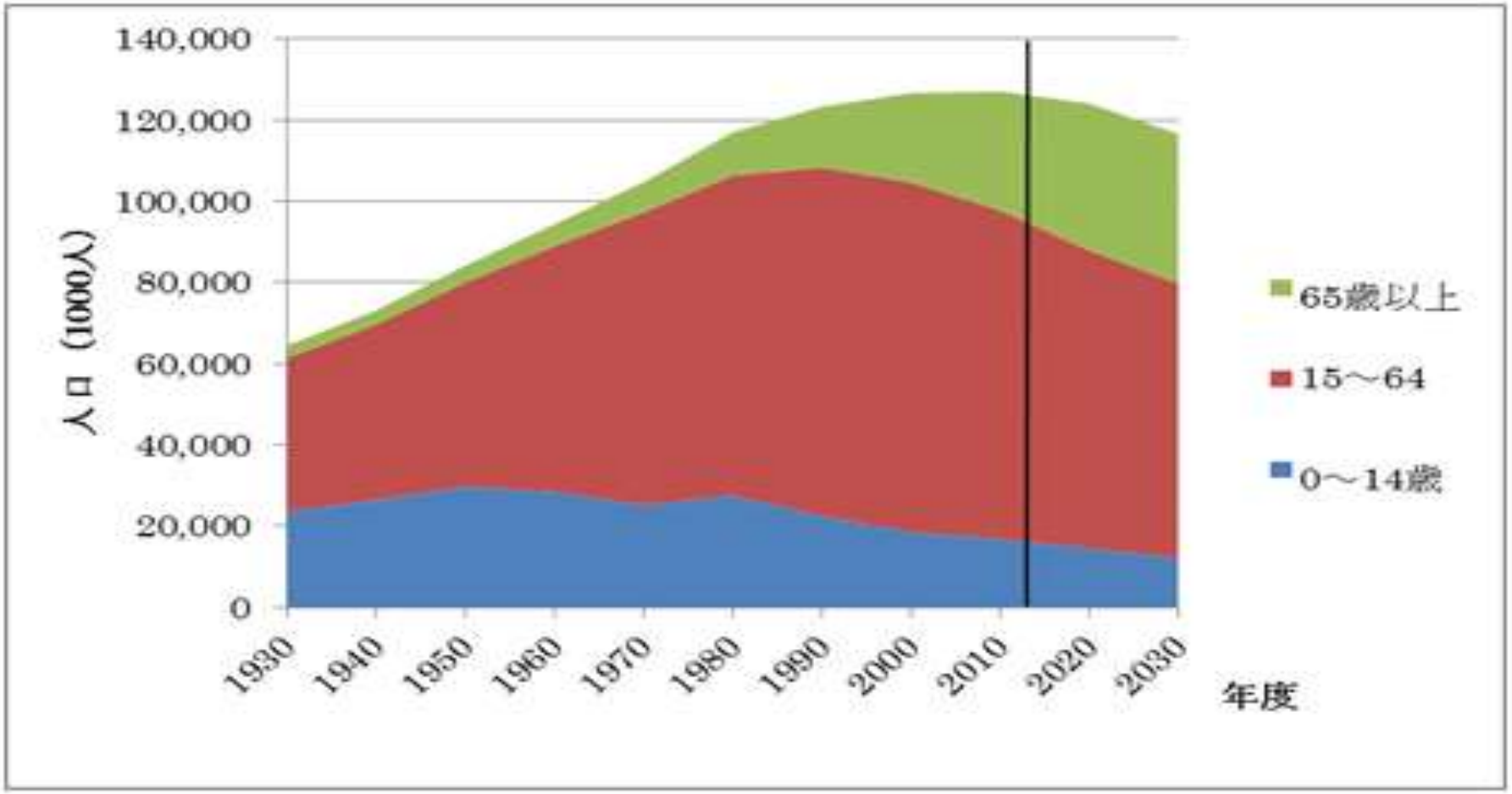
平成25年11月30日

第四回北海道学生研究会釧路公立大学

報告発表者

坂本 和田 片岡 赤崎 正時 木金

日本の年齢構成の推移と予測



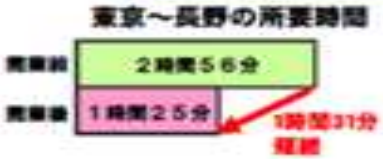
出典：総務省統計局（2013）「日本の統計2013」より筆者作成

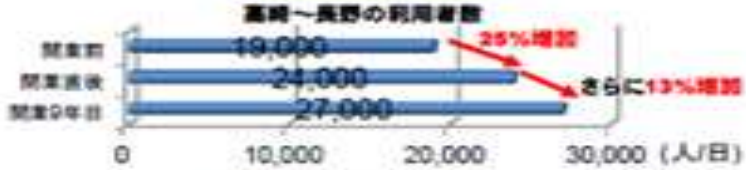
高速新幹線鉄道との競争

既開業区間の開業効果

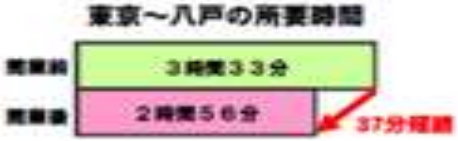
時間短縮効果　　利用者の増加

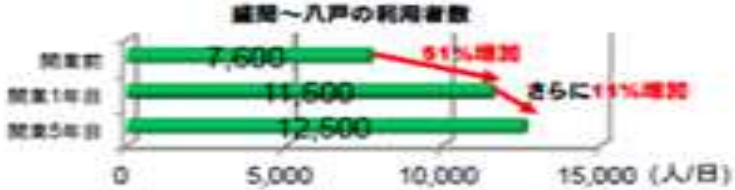
■北陸新幹線
（高崎・長野間）



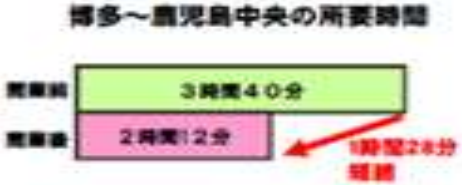


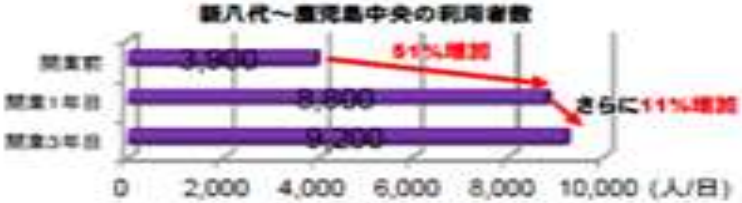
■東北新幹線
（盛岡・八戸間）





■九州新幹線
（新八代・鹿児島中央間）



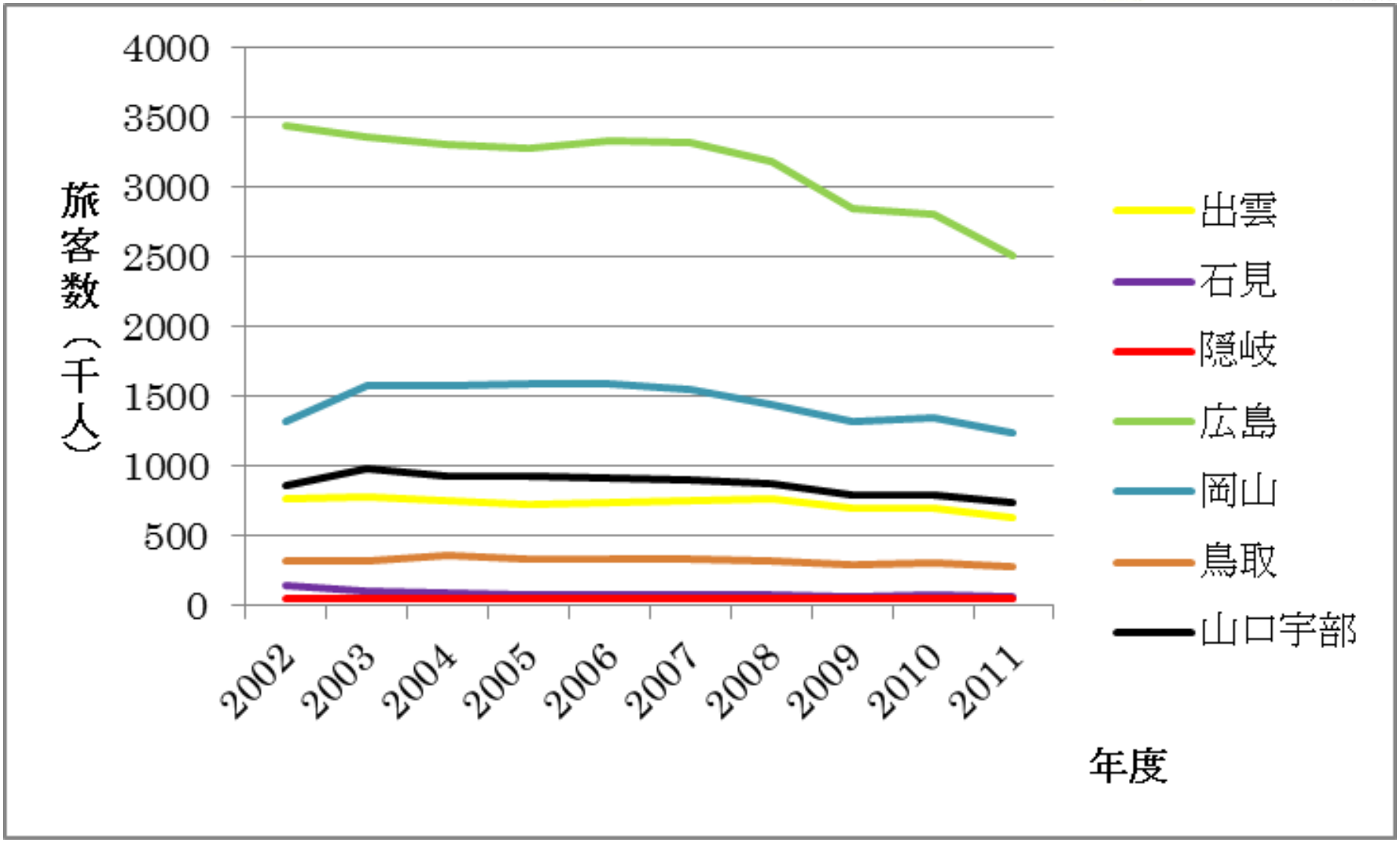


■東北新幹線
（八戸・新青森間）

■九州新幹線
（博多・新八代間）

出典：国土交通省（2013）「整備新幹線の開業効果」
http://www.mlit.go.jp/common/000224508.pdf

中国地方の空港の乗降客推移



出典：国土交通省「空港管理状況調書」

地方空港を取り巻く環境

他の交通機関の発達

人口減少・高齢化

地方経済の低迷

↓

利用者の減少

↓

減便・撤退

悪循環

THE UNIVERSITY OF SHIMANE
公立大学法人 島根県立大学

萩・石見空港の利用実態調査

萩・石見空港の概要

萩・石見空港の概要

THE UNIVERSITY OF SHIMANE
公立大学法人 島根県立大学

・1993(平成5)年に島根県益田市に開港。

・就航路線・・・一日一便、羽田行のみ
季節限定で伊丹行

・昨年度（H24年度）利用者数70，705人

萩・石見空港の収支状況（H24年）

THE UNIVERSITY OF SHIMANE
公立大学法人 島根県立大学

萩・石見空港の収支

項目		金額（万円）
収入		35,20
	着陸料・停留料	29,90
	土地・建物貸付料	4,70
	航空機燃料譲与税	60
支出		203,90
	人件費	61,40
	維持管理費	126,90
	ﾊｲｼﾞｬｯｸ防止対策費負担金	15,60
収支		▲168,70

出典：島根県資料

ターミナルビルの収益

項目		金額（万円）
売上高		19,670
	家賃	10,965
	施設利用者	2,069
	レストラン	978
	売店	2,450
	その他	3,208
経常利益		33,56
当期純利益		18,37

出典：（株）石見ターミナルビル「第22期　事業報告書」

萩・石見空港の利用実態調査

アンケートによる実態調査

アンケート配布の概要

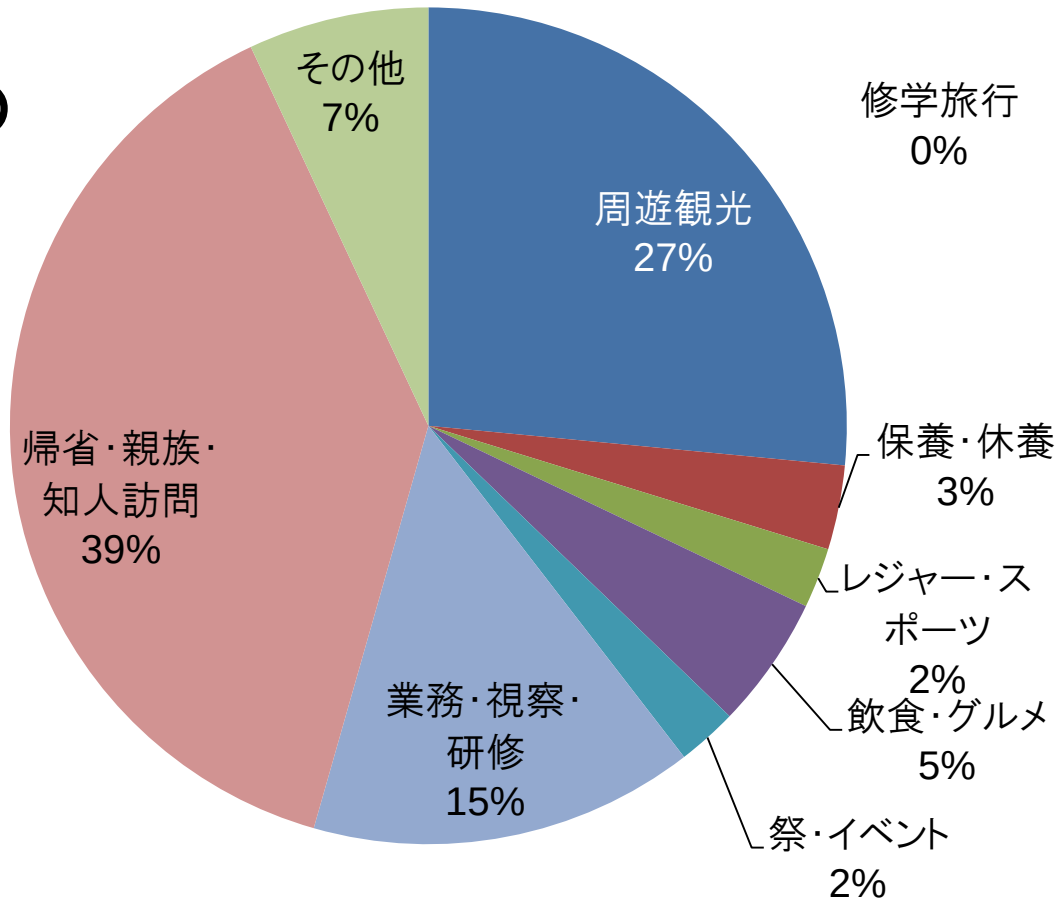
- 配布日　平成25年9月18日～9月23日
（12:00~14:00)
- 配布場所　萩･石見空港　出発、到着ロビー
- 配布枚数　444部
- 回収数　186部
- 回収率　42%

利用客の旅行、出張目的

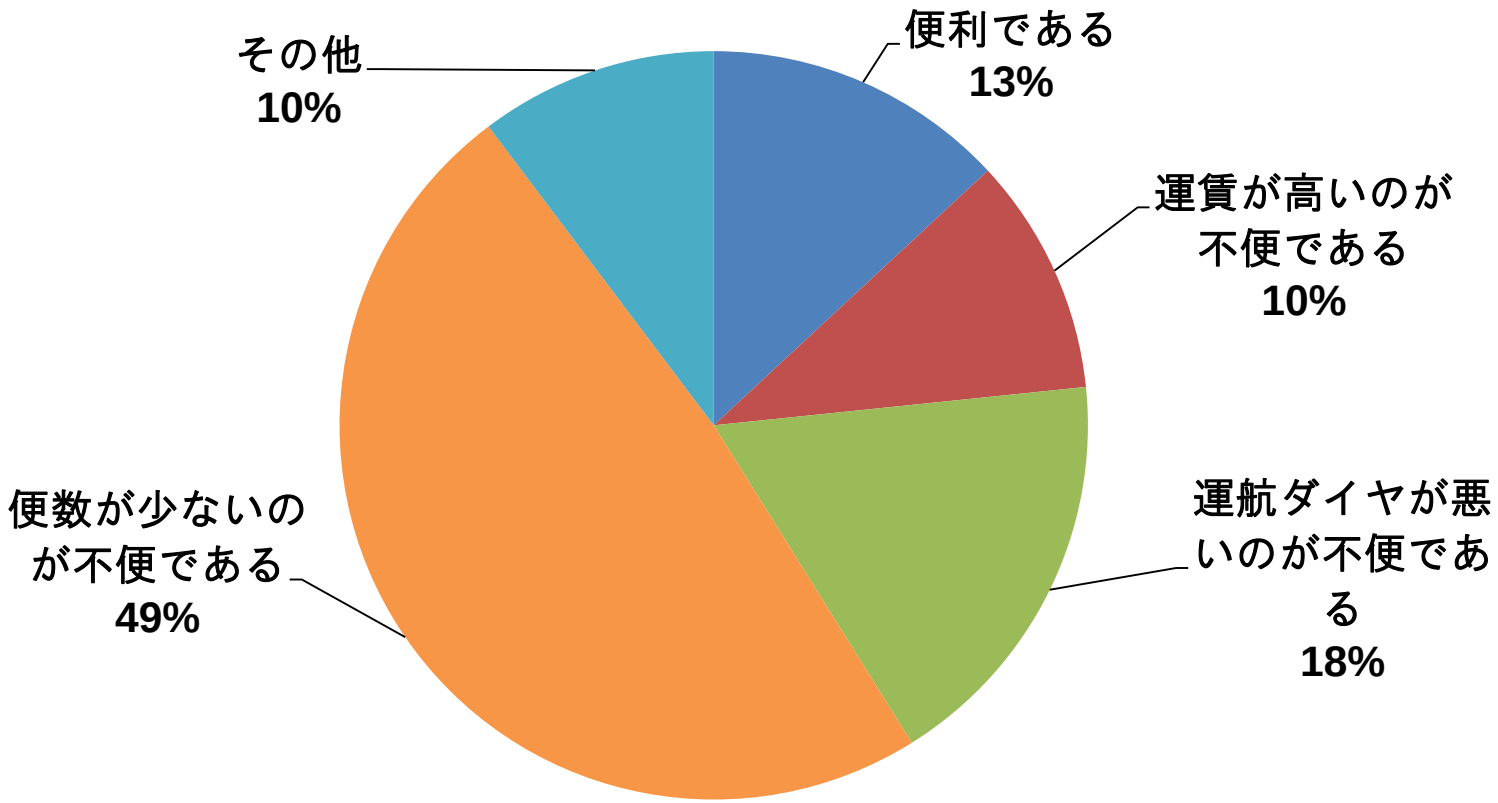
- 利用客のほとんどは観光や帰省といった私用な利用が多く、仕事での利用客は少ない。

なぜ？

- 1日1便という便数の少なさ。
- 運行ダイヤが限られている。



萩・石見空港の航空サービスに対する評価



- 約半数の萩・石見空港利用者が当空港の航空サービスに対して、便数が少ないと指摘している。

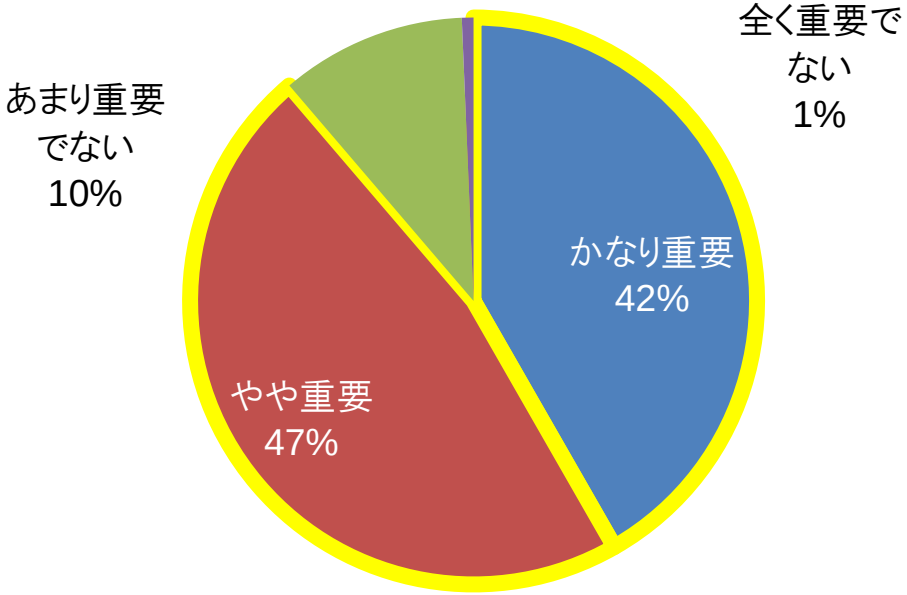
萩・石見空港利用客の交通選択要因

- 一般のアンケート項目とは別に、回答に重要度の尺度を設け**8個**の質問項目を作成。

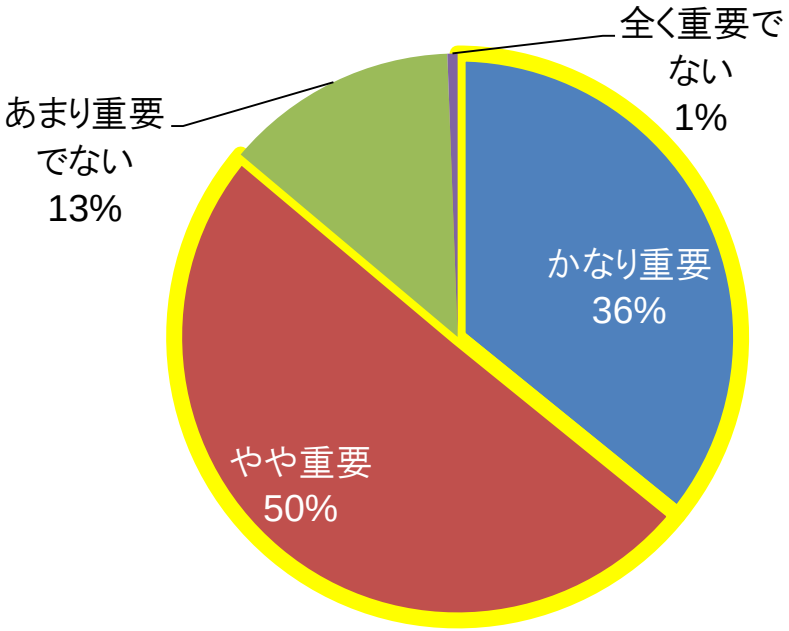
①便数の多さ
②運賃の安さ
③ポイントやマイレージの付与
④移動時間の短さ
⑤到着地側の主要交通機関から目的地への移動時間
⑥自宅から主要交通機関まで自家用車でアクセスできる
⑦時間の正確さ
⑧事故率の低さ

便数の多さに対する重要度

仕事での出張の場合



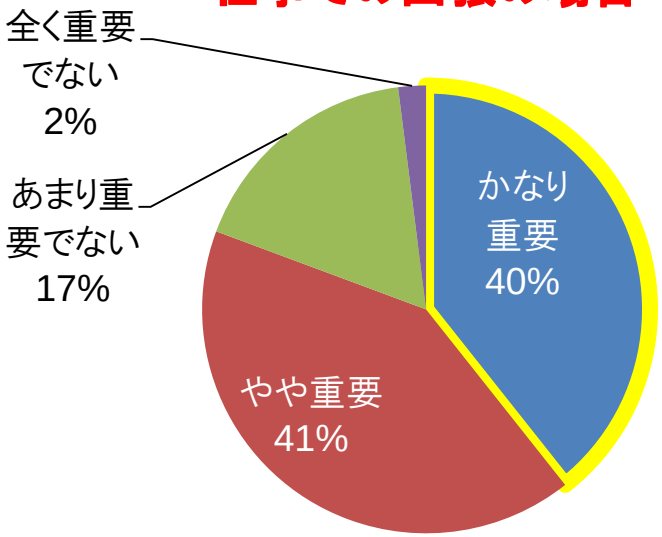
プライベート旅行の場合



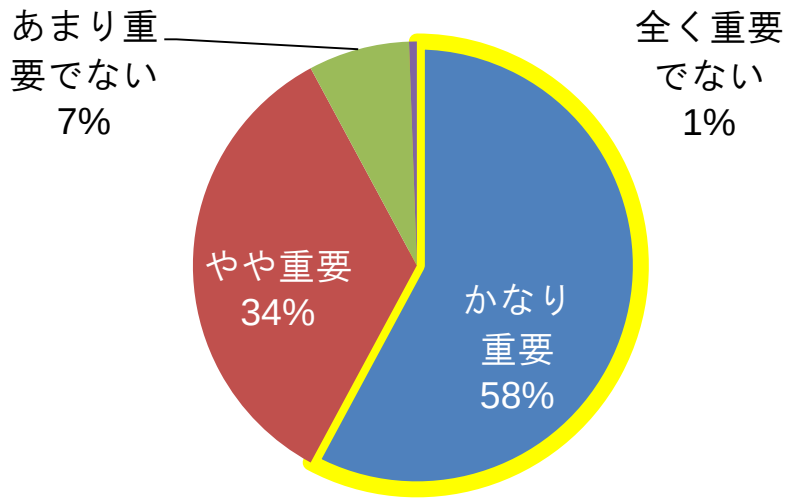
- 多くの人が便数の多さを重視している

運賃の安さに対する重要度

仕事での出張の場合



プライベート旅行の場合

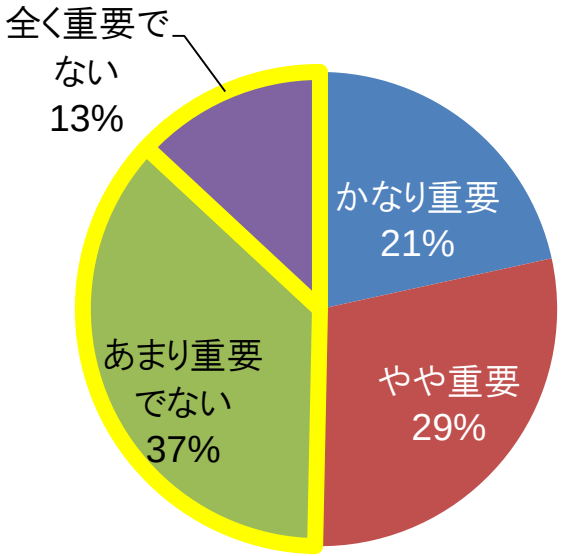


- プライベートで旅行する際、仕事による出張よりもやや、「かなり重要」の占める割合が大きい

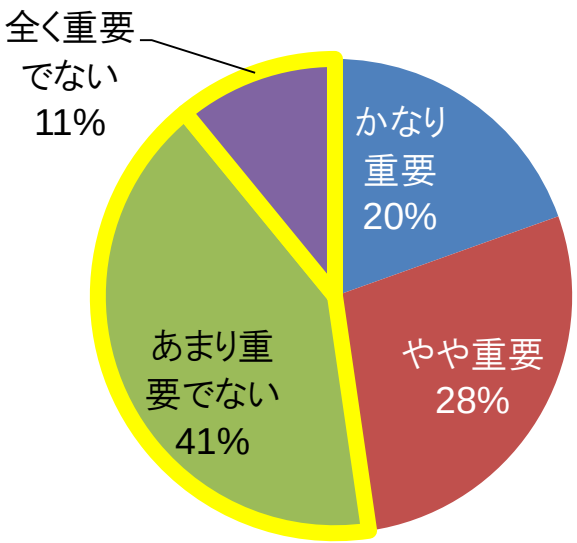
- プライベートでは旅費が全て自己負担となり、運賃の価格への意識が高まると考えられる

ポイントやマイレージに対する重要度

仕事での出張の場合



プライベート旅行の場合



- 重要でないという割合が半数を占めている
- 仕事もプライベートの場合も相違はない

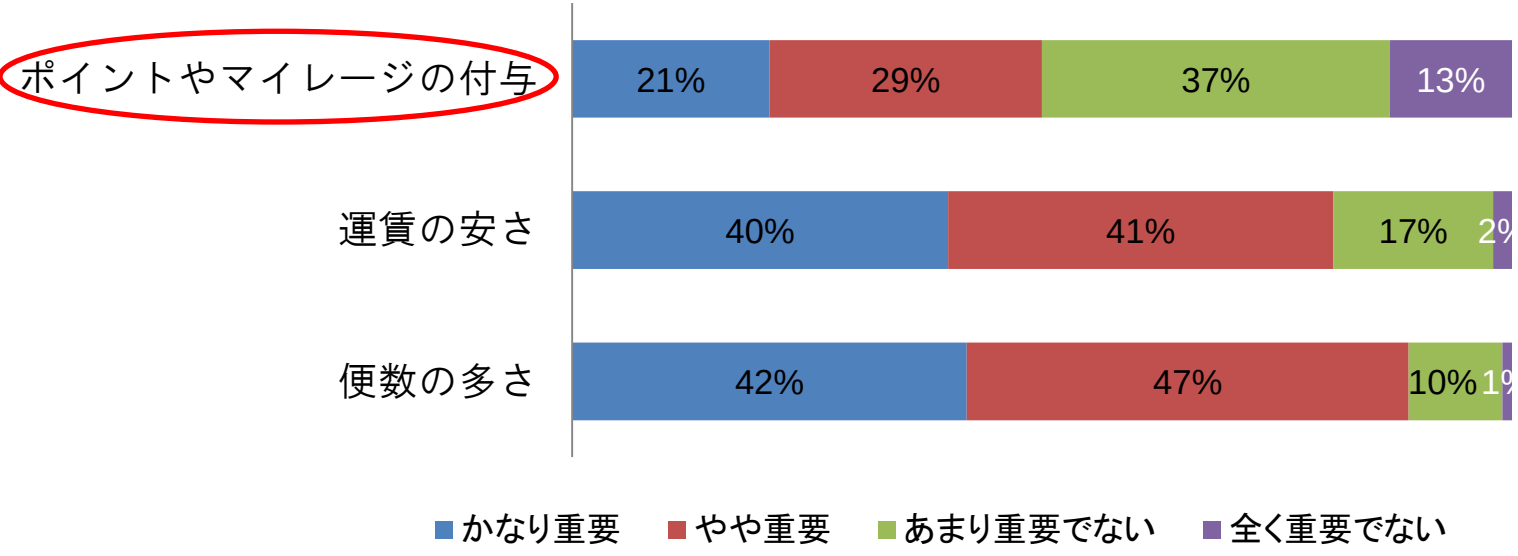
集計結果のまとめ

- 交通機関を選択する際にいくつかの要因があるが、8個の質問項目の中で特徴の見られる結果を示したものが先に挙げた3つの項目である。

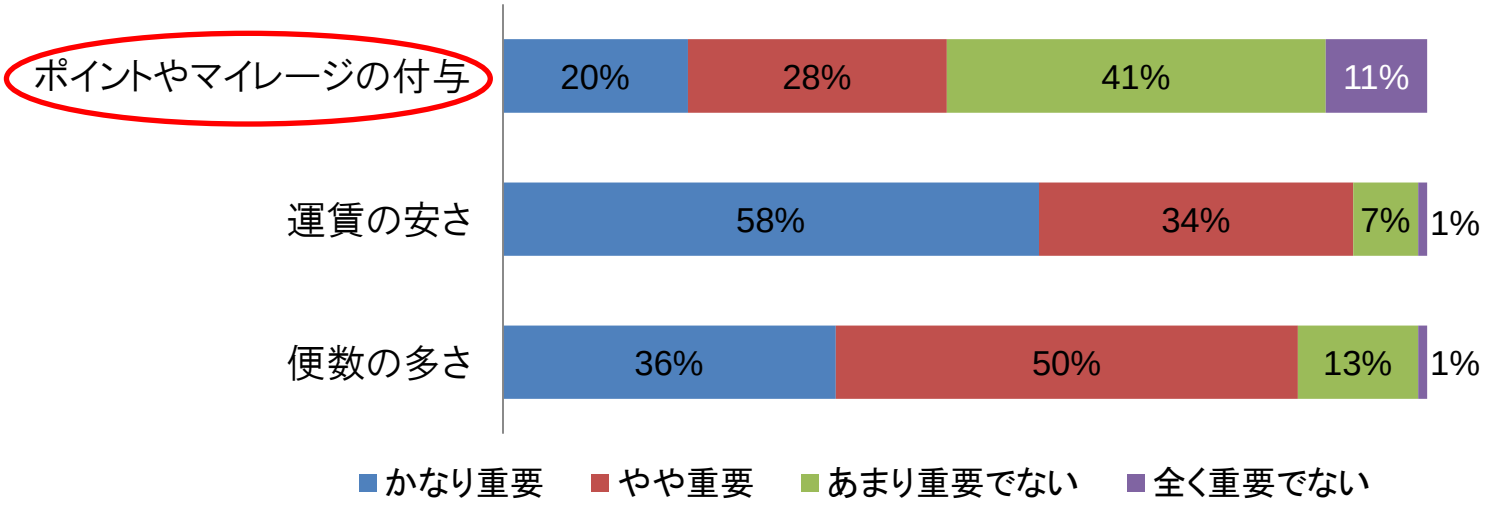
➡ 各交通機関の行っているポイントやマイレージの付与はさほど重要ではなく、利用にかかる費用や便数の多さによる計画の立てやすさなどの要因が交通機関選択の決め手になっていると考えられる。

交通選択における重要度の割合

THE UNIVERSITY OF SHIMANE
公立大学法人 島根県立大学



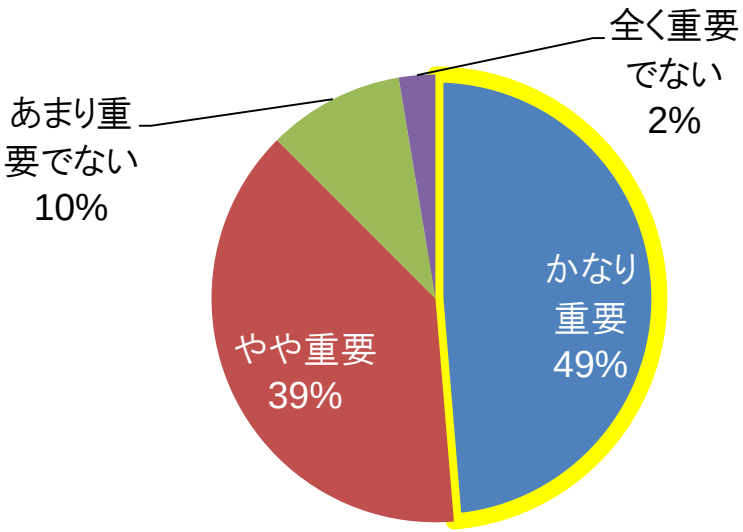
仕事での出張の場合



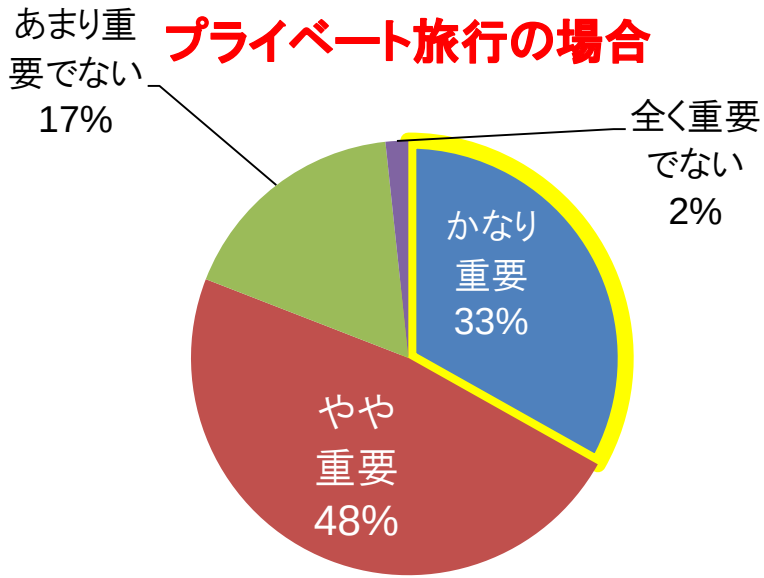
プライベート旅行の場合

移動時間の短さに対する重要度

仕事での出張の場合



プライベート旅行の場合



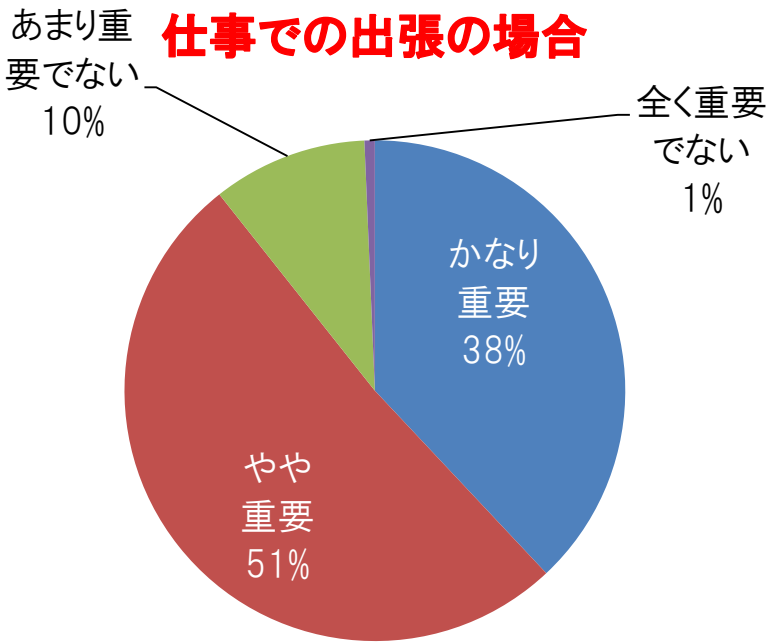
移動時間（自宅から目的地）についての質問

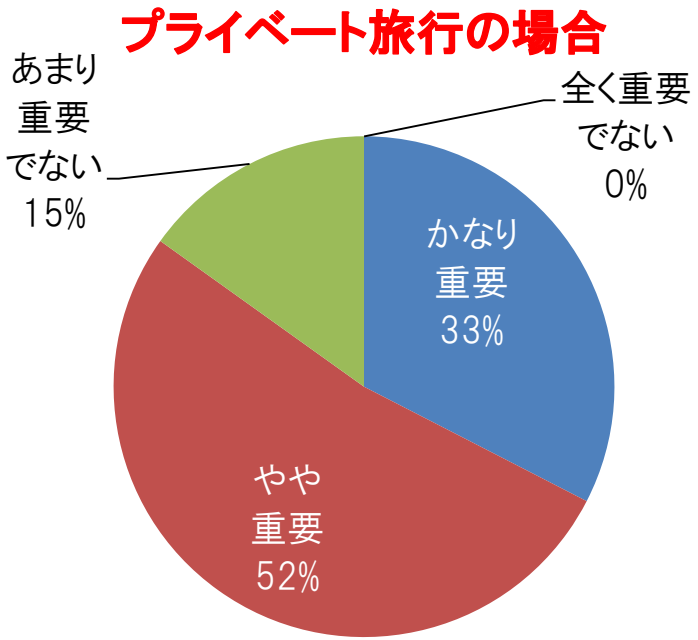
プライベートよりも仕事の方が時間を重視

なぜ？

時間的余裕の確保が重要視されている

到着地側の主要交通機関から目的地への移動時間

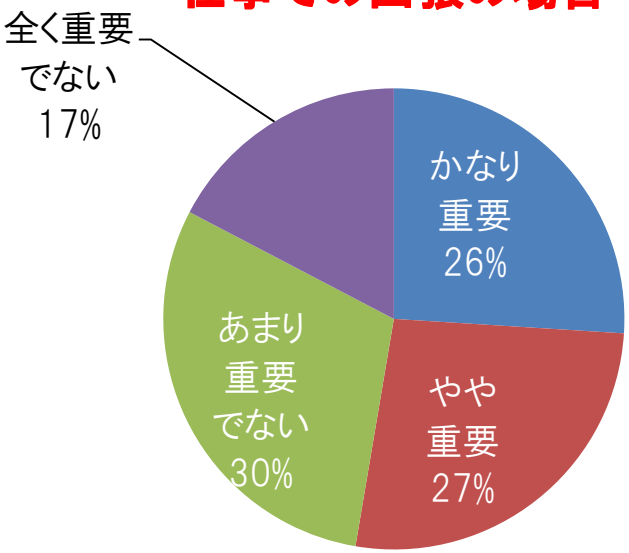




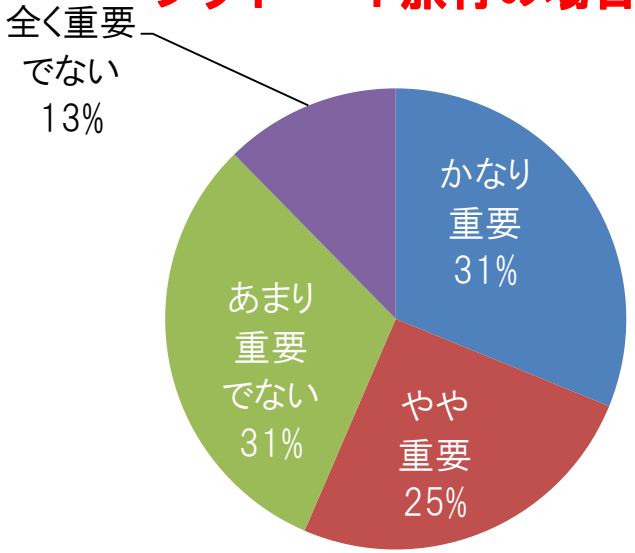
仕事の場合もプライベートの場合も相違はない

自宅から主要交通機関まで 自家用車でアクセスできること

仕事での出張の場合

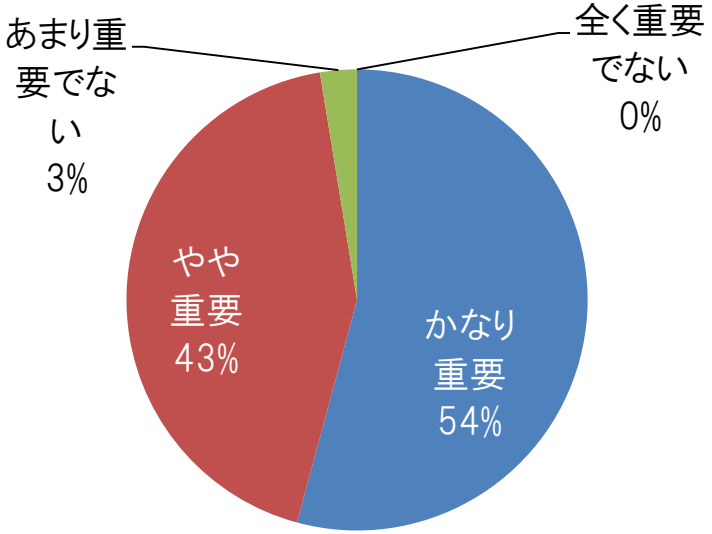


プライベート旅行の場合

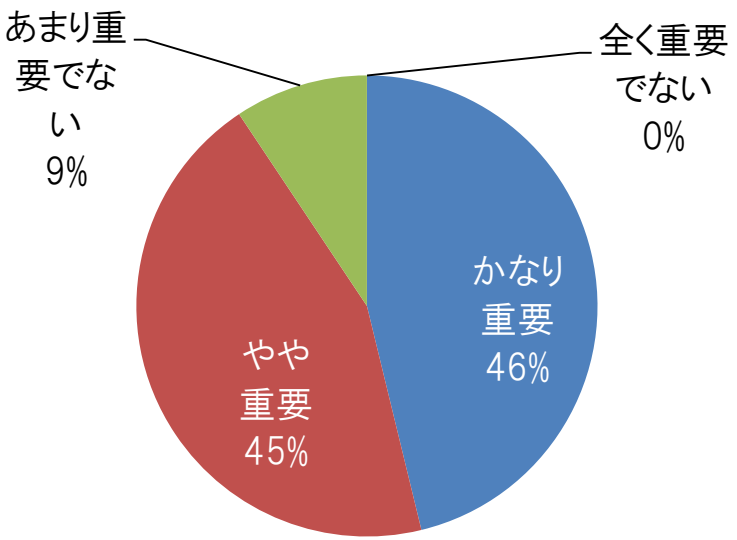


時間の正確さ

仕事での出張の場合

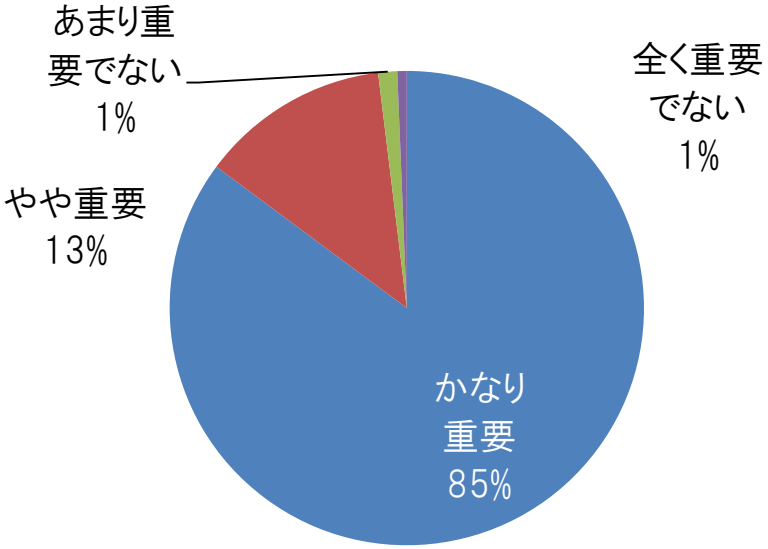


プライベート旅行の場合

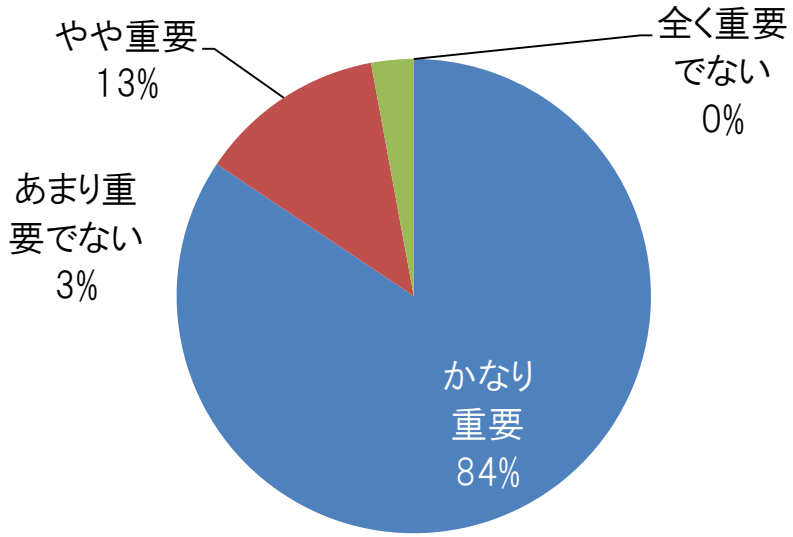


事故率の低さ

仕事での出張の場合



プライベート旅行の場合



萩・石見空港の取組

★運賃の引き下げ~助成金~

「みんなで行っとく助成」

「乗継でトクトク助成」

★航空会社の割引

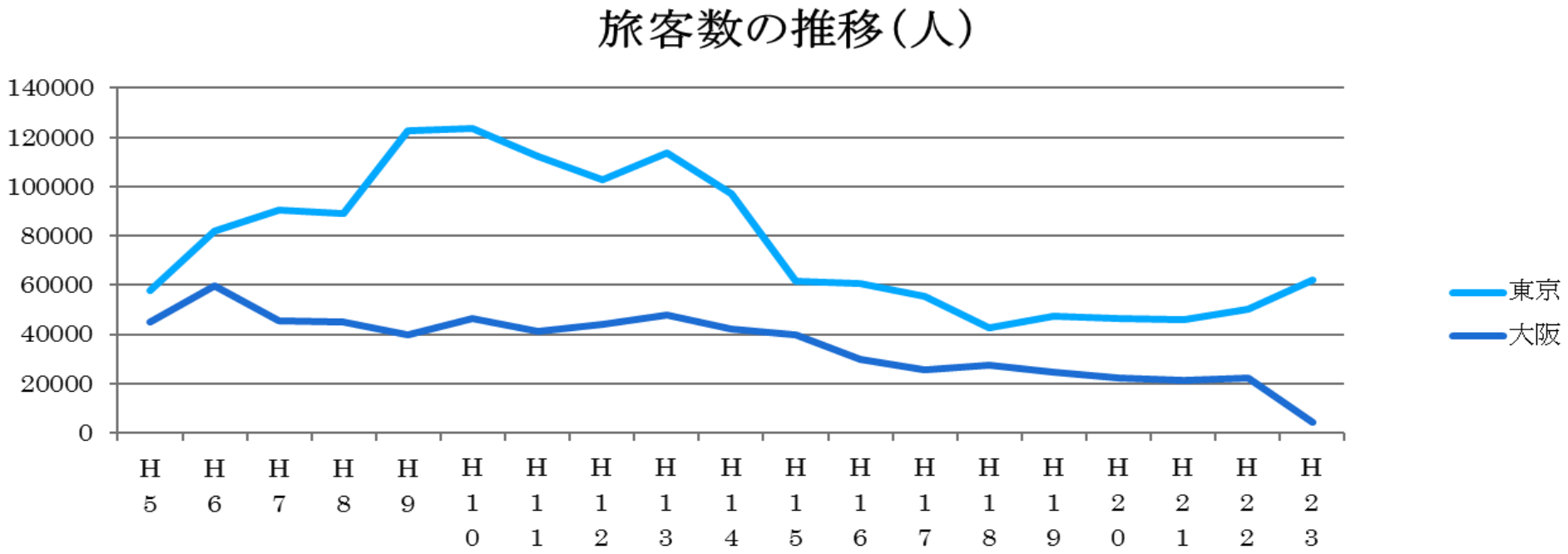
「旅割〇〇」〇〇日前に予約することで安くなる

★便数の増加

撤退した大阪路線を期間限定で復航させた取組

旅客者数の推移

THE UNIVERSITY OF SHIMANE
公立大学法人 島根県立大学



H5　東京、大阪便各1便で運航開始

H9　東京便2便化

H14　12/1より東京便減便

H22　1/5より大阪便運航休止

H23　大阪便季節運航　(7/15~8/31)

（出典）島根県　益田県土整備事務所
石見空港管理所（2012）
「石見空港の概要」p.6

萩・石見空港の活用

THE UNIVERSITY OF SHIMANE
公立大学法人 島根県立大学

（平成20年)萩・石見空港マラソン全国大会の開催

萩・石見空港で開催される、全国でも唯一の
空港の滑走路からスタートするマラソンの全国大会

昨年度は全国から3671人のランナーが参加

福島空港の活用事例

―空港の利活用の実例―

福島空港の概要

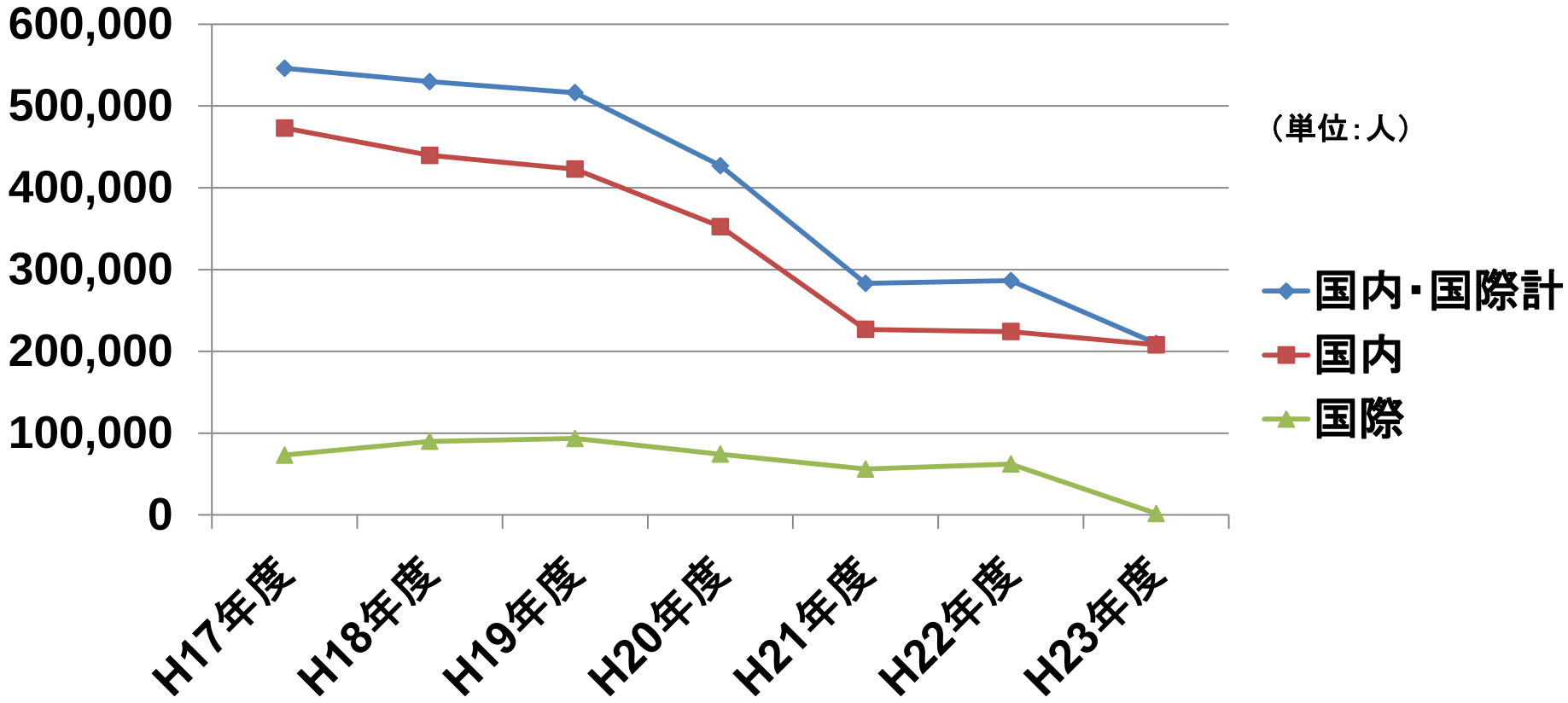
平成5年、須賀川市・石川郡玉川村に開港
滑走路2500m×幅60m
昨年度利用者人数**233，692**人
（定期路線搭乗率**62．4**%）

就航状況

国内線：札幌2往復
　　：大阪5往復
国際線：上海・ソウル（運休中）

乗降客数の推移

THE UNIVERSITY OF SHIMANE
公立大学法人 島根県立大学



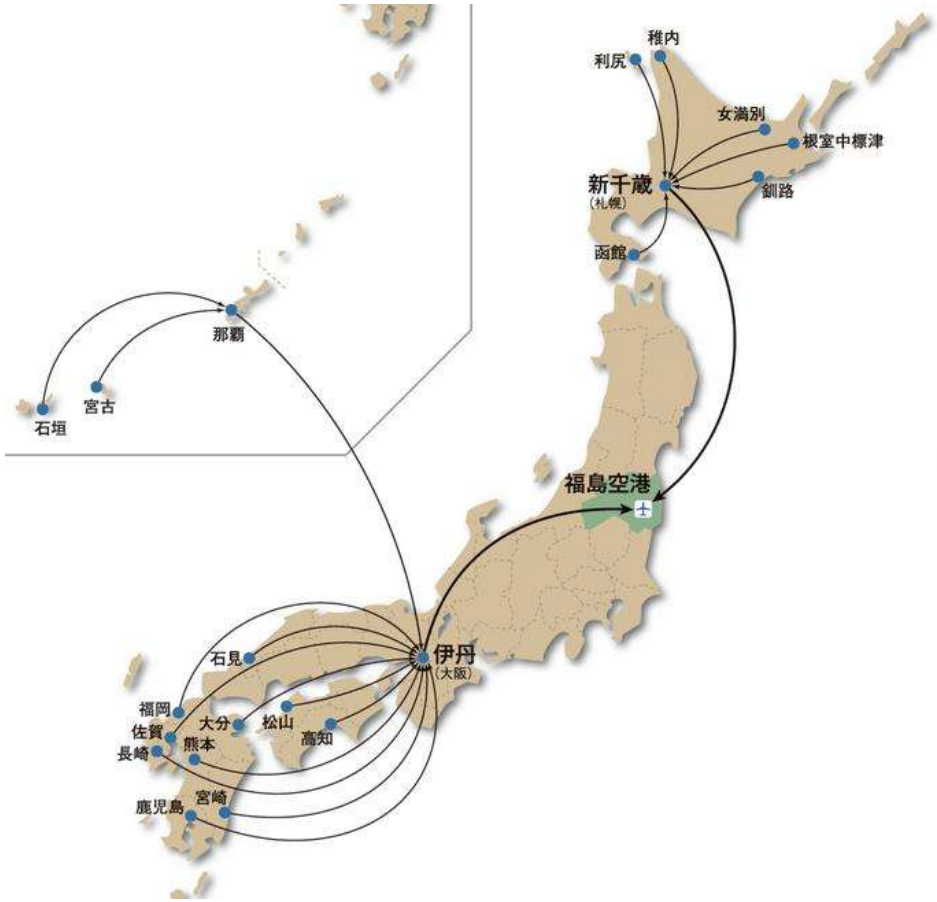
	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23
国内・国際計	574,146	529,726	516,299	426,869	283,014	286,375	209,695
国内	473,000	439,683	422,723	352,539	226,842	224,125	207,971
国際	73,146	90,043	93,576	74,330	56,172	62,250	1,724

出典)「空港管理状況調書」国土交通省

路線拡大の取組

THE UNIVERSITY OF SHIMANE
公立大学法人 島根県立大学

福島空港⇒伊丹空港⇒地方空港へアクセス
⇒新千歳⇒北海道内空港へアクセス



（出典）
http://www.pref.fukushima.jp/bunka/seigaku/2012hp/Fukushima.html

空港のイベント利用

協議会を中心にしたイベント活動
↳地元の市町村を中心にした団体

・福島空港活性化のため活動

- にぎわい創出事業
- 広報事業
- 路線維持・拡大事業

etc…

ウルトラマン空港フェスタ
（H25　3月20～31日）

・福島空港観光交流局空港交流課という窓口が存在する

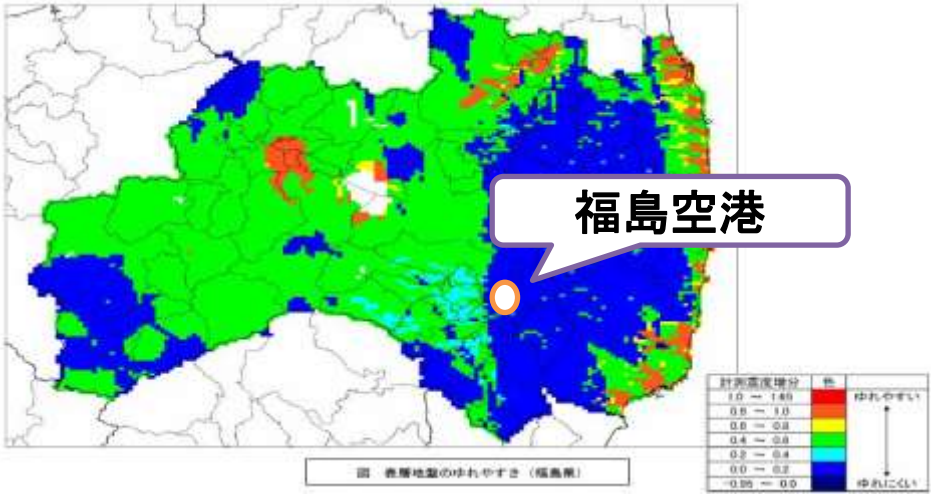
防災拠点としての福島空港

THE UNIVERSITY OF SHIMANE
公立大学法人 島根県立大学

平成23年3月11日　**東日本大震災**

救援機・報道機など24時間体制で受け入れ
救援活動部隊の活動拠点として機能

東京までヘリで1時間
計器飛行可能



出典）内閣府防災情報「表層地盤のゆれやすさ全国マップ」
http://www.bousai.go.jp/oshirase/h17/yureyasusa/fukushima.pdf

まとめ

交通選択の要因
地方空港の利活用

- 地方空港の利用者はインフラとしての空港に求めているのは運賃の安さ、移動時間の短縮、便数の増加といった点だった。

- 運賃の引き下げ、便数の増加は確かに利用者数の増加につながった。

- 空港自体の活用策も、さらに検討を進める必要があると思われる。

参考文献

・野村宗訓・切通堅太郎著（2010）『航空グローバル化と空港ビジネス—LCC時代の政策と戦略』同文館出版
・野村宗訓（2009）「地方空港再生策としての複数一括運営—イギリスの実態と我が国への示唆」経済学論究63巻大3号PP.379~398
・総務省統計局（2013）「日本の統計2013」
・内閣府「県民経済計算」
・国土交通省（2013）「整備新幹線の開業効果」
・国土交通省「空港管理状況調書」
・島根県資料
・中国電力株式会社　エネルギア総合研究所（2010）
・「交通インフラの活用 中国地域経済白書2010」p.166
株式会社三菱総合研究所（2012)「福島空港の地域に与える効果と今後の活用に関する調査」
永澤祐二、加藤一誠（2013)「東日本大震災と空港インフラの評価—福島空港を事例に一」
福島県資料